

新谷 隆 / 内村竹志著
NTT出版発行
P265
1900円
ISBN : 4-87188-438-4

学校間交流で教育に利用



『メディアキッズの冒険』

家庭用ゲームマシンで遊ぶ子供たちがこれからの情報化社会に適応していくとは限らないことは、かつてのインベーダーゲームの名人が現在コンピュータに長けているとは限らないことから察することができる

る。しかし、コンピュータネットワークで国内の他の学校と通信することが電話をかけるように当たり前の小学生や中学生がいたらどうだろうか。1994年、アップルコンピュータと国際大学グローバルコミュニケーションセンターとの共同教育研究プロジェクトとしてスタートした「メディアキッズ」は、「コンピュータネットワークによる子供たちが主役の学校間交流」をテーマにした実験的ネットワークであり、本書はこのメディアキッズの記

録である。副題に「インターネットによる教育実践の記録」とあるが、プロジェクトはGUIベースのBBSで開始される。逆に押しつけられる制約がないため、参加する子供や親が自分たちでルールやネチケットを作っている緩やかな直接民主制のネットワーク社会を構築する過程が描かれていて興味深い。さあ、これからインターネットに乗り出すぞ、というところで終わっているが、ぜひとも今後のメディアキッズを見てみたいものである。



インターネットを何に使うか?

菊地宏明 Hiroaki Kikutchi

モバイルの実践マニュアル

『デジタル情報の仕事術』

週刊ポストで連載中のハイテクエンジニアとのインタビュー記事『メタルカラーの時代』もおなじみだが、自らの「仕事術」を紹介したこのシリーズも本書で3冊目になった。さすがにコンピュータを中心とした情報機器を日常的に使いこなしているだけあり、世界中を取材で飛び回りながらパソコンで原稿を書き、ネットワークを駆使して編集部に入稿する様子がよくわかる。これこそ、実践的モバイルコンピューティングのマニュアルだ。これほどまで充実した使い方を紹介した本はまだないだろう。とくに著者と同じアップル社のPowerBookを使ってアウトドアで仕事をする人は必見だ。多くのTipsがそのまま活用できるはずである。デ



山根一眞著
日本経済新聞社発行
P265
1500円
ISBN : 4-532-14439-6

ジタル移動オフィスの構成図などは、目的に合わせて周辺機器を購入していくときに参考になる。もちろん、他機種のノートパソコンユーザーにも役立つ情報は多い。圧巻は世界の電話のコネクター一覧と変換アダプターの写真だ。何だこれは、と言いたくなる形のアダプターの写真がずらりと並んでおり、一覧表には国別にどこの国と規格が同じかが記されている。これは海外に出張するときには重宝する。残念なのは、パソコンの表示画面がイメージを紙に印刷した後に使われたのが、品質が悪く読みづらい。

ネットワーク犯罪の手口

『危ないパソコンネット 攻略マニュアル』

ハッカーの声をレポートした『リアル・ハッカーズ』の著者を中心に、パソコン通信やインターネットにしくまれた甘い罠をあばいてゆく。インターネットのバーチャルショップの甘言に十数万円をだまし取られるケースや、手に入れたパソコン通信のIDが不正に入手されたものだったために犯人扱いをされるケース、個人情報からパスワード候補を生成するハッキングツールなどのネットワークのダークサイドを垣間見ることができる。詐欺の巧妙な手口や、トラブルに巻き込まれたときに泥沼化するパソコン通信の法的な曖昧さが克明に記されており、肌寒いものがある。電話回線を盗聴

し、DAT、MDでモデム信号をデジタル録音してまでデータを狙うことが起きているという話はとくにショッキングだ。盗聴を防がなければ、パスワードを難解にしようが、対策にならないわけだ。昨今のインターネットには、パソコン通信によく見られる個人攻撃をする批判家や罵詈雑言を吐く者が以前に比べて増えたような感じがする。きっと、いつかはパソコン通信と同じ風潮が現れるだろう。そうなれば、悪意を持った輩も多くなるに違いない。事件に巻き込まれないためにも、犯罪の手口を知っておいて損はない。



橋本典明著
徳間書店発行
261頁
1200円

さまざまな形の電子広告

『eマーケティング』

電子メールをeメールと呼ぶことは一般的だが、最近の電子メールやWWWページを見ているとe がやたらと多い。怒っている文章での表現に「eピンタ」、「eパンチ」などがあり、ときどき使わせてもらっている。本書のeマーケティングも同じノリの造語だろう。電子化されたマーケティングのことで、90年代になって日本でも普及しているいくつかのマーケティング方法を紹介している。データベース・マーケティング、パソコン通信、インターネット、マルチメディア（CD-ROM商品カタログなど）、インフォマーシャル（情報性の高い長時間のCM）、ファックス・オン・デマンド（自動応答のFAX情報サービス）、オーディオテキスト（自動応答の音声応答サービス）といったもので目新し

さはないが、改めてeマーケティングと言われると新鮮に感じる。これも、本を売るための一つのマーケティングか。内容は、広告業界向けになっており、カタカナが異常に多い独特の書き方で書かれている。インターネットの章では、電子メールを使ったマーケティングを解説しているが、かつて起こったジャンクメールの送付に対してフレームが起ったケースを紹介し、フレームを起こさない方法も提示していて、参考になる。



セス・ゴウディン著
大澤公選訳
東急エージェンシー出版部発行
429頁
1800円
ISBN : 4-88497-044-6

ジャーナリストの情報収集

『インターネット探検』

月刊誌『Views』に連載されているウェブページを探検したレポート「インターネットはどこでもドア サイバースペース探検記」と、村井純氏（慶應大学環境情報学部助教授）、福川伸次氏（電通総研所長）との対談をまとめた本である。インターネットの歴史

やしくみ、ソフトウェアの使い方、面白いホームページを紹介したインターネット入門書やガイドブックは多くのテクニカルライターによって書かれているが、それは単なる導入部にしか過ぎず、自動車であれば、運転のための教本とドライバガイドを読んだだけでは、自由に運転するためには、それなりのコツがある。

立花 隆著
講談社発行
P189
1500円
ISBN : 4-06-208178-4



入門書とガイドブックを読み終えて、「インターネットってこの程度か」と感じるならばぜひ読んでほしい。テクニカルライターでは捉え切れていないインターネットの潜在能力が、ジャーナリストの目で評価されている。第1部では著者がジャーナリストの立場でインターネットをどう活用しているかがレポートされており、インターネットの奥深さが理解できるだろう。インターネットを使って資料を捜す具体的な方法を知ることができたり、個人レベルでインターネット上に多くの情報を公開している驚くべき状況がわかる。

すぐに使えるグラフィック集

『Macintosh版 Internet ホームページ用 素材集 CD-ROM』

最近ではホームページ作成専用ソフトPageMillなどの登場により、個人でもホームページを簡単に作ることができるようになったが、貼り付けるイラストや画像の調達には一苦労する。自分でイラストが描けるならば問題はないが、絵心のない者はライセンスフリーのイラスト集や写真集から捜さねばならない。しかし、WWWのボタンに適切なイラストがなかったり、GIFやJPEGといったファイル形式で

外だとファイルコンバートが必要になるなど簡単にはいかない。本書は、「インプレス・デジタル素材ライブラリシリーズ」としてCD-ROMで提供される素材集だ。背景、カット、飾り文字、デザインされた区切り線、ボタンマーク、シンボルマーク、風景写真など3000点以上のグラフィックデータが、それぞれGIF、インターレースGIF、JPEG、プログレッシブJPEGの形式で収録されている。ファイル形式を変更する手間をかけずに利用でき、ホームページで利用する前提でデータが集められているので、

使いそうなものが多い。本にはグラフィックデータのイメージ、データ名、イメージのサイズがカテゴリー別に掲載されており、選ぶのに都合がいい。Windows版も販売されているので利用するパソコンに合わせて購入したい。



SIFCA&GSP(CG & ARTWORKS) / インプレス編集部編
インプレス発行
142頁
3800円
ISBN : 4-8443-4745-4



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp